

臨床検査基準範囲の変更履歴

変更日	項目	新	旧	備考
2023/9/19	CMV核酸定量	検出せず または 定量下限未満	設定なし	結果報告方法変更のため
2023/10/3	大腸菌O-157抗原		陰性	院内測定中止のため
2023/12/26	SARS-CoV-2抗原(唾液)		陰性	院内測定中止のため
	HCV-RNA核酸定量		ケンシュツセス	外注委託化(OML)のため
2024/2/14	APTT	24.0~34.0	26.9~38.1	測定試薬変更のため
2024/2/15	第Ⅳ凝固因子活性	60~140	70~150	測定試薬変更のため
	第Ⅴ凝固因子活性	60~140	70~120	
2024/3/26	シスタチンC	(男性)0.63~0.94mg/L (女性)0.52~0.85mg/L	(男性)0.63~0.95mg/L (女性)0.56~0.87mg/L	測定試薬変更のため
	リウマチ因子	15IU/mL以下	16U/mL未満	測定試薬変更のため
	SARS-CoV-2核酸検出(BD MAX)		陰性	院内測定中止のため
	MAC核酸同定		陰性	外注委託化(OML)のため
2024/5/17	UGT1A1*28,*6遺伝子多型解析	*6,*28ともに多型を持たない ワイルドタイプ	設定なし	
2024/7/9	PT-INR	0.9~1.15	0.92~1.19	JCOG共用基準範囲より引用とする運用に変更のため
	PT-sec	9.9~11.8秒	9.6~12.3秒	PT試薬添付文書より引用とする運用に変更のため
	好中球数	1500~7500/μL		臨床検査法提要より引用とする運用に変更のため
	リンパ球数	1000~4000/μL		
	単球数	<800/μL		
	好酸球数	100~500/μL		
	好塩基球数	<50/μL		
2024/10/4	経食道超音波	削除		検査部として実施していないため
	腹部超音波	<胆管> 肝内胆管の径が4mm以上、肝外胆管(左右肝管を含む)径が8mm以上を拡張とする 胆嚢摘出後や胃切除後、高齢者では肝外胆管径が拡張することがある	<胆管> 左右肝管の径が4mm以上、総胆管径が8mm以上を拡張とする 胆嚢摘出後や胃切除後、高齢者では肝外胆管径が拡張することがある	
		<脾臓> 最大径で10cm≦を腫大とする	<脾臓> 体格や脾臓の形態、下記の計測法を参考にし、腫大を評価する 1) 千葉式: 脾門部から下極端までの距離(a)cm × 脾門部での厚み(b)cm ≧ 20cm ² 2) 古賀式: 後上縁と前下面の距離(c)cm × 脾門部を起点に直交する径(b)cmに恒数(正常0.8、肝炎0.9)を乗じた値 ≧ 30cm ²	
		<膵臓> サイズの目安は頭部30mm、体部20mm、尾部25mm以下	<膵臓> 1) サイズ(横断走査) 膵頭部: 3cm以下、膵体部: 2cm以下 全体のバランスに注意し、個人差を考慮する	
		<膵管> 膵管径は3mm未満 膵管は加齢とともに拡張する傾向があり、経時的な変化もある	<膵管> 膵管径は3mm未満 軽度の拡張は非特異的な場合もあるので注意する	
		<腎臓> 長径は8~12cm	<腎臓> 長径は約10~12cm、短径が5~6cm 通常は右腎に比べ左腎の方が少し大きい	
甲状腺超音波	<健常成人: 甲状腺> 横径: 1~2cm、縦径: 4~5cm、厚み: 1~2cm <健常成人: 副甲状腺> 長径3mm程度	<健常成人: 甲状腺> 横径: 1~2cm、縦径: 4~5cm、厚み: 1~2cm <健常成人: 副甲状腺> 横径: 2~4mm、縦径: 4~6mm、厚み: 1mm		
2024.12.25	尿中グルコース(随時尿)	2~20mg/dL	設定なし	
	尿中グルコース(24時間尿)	30~130mg/day 0.03~0.13g/day	設定なし	
2025/1/27	D-BIL		0.08~0.28mg/dL	院内測定中止のため
	C-BIL	0.20mg/dL以下		新規採用のため追加